



J

AV レシーバー

RX-A3070  
RX-A2070

## スタートアップガイド

準備と接続 .....	3 ページ
基本的な操作 .....	14 ページ

JA

- ご使用の前に「取扱説明書」の「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 本書では、7.1 チャンネルシステムまたは 7.1.2 チャンネルシステム（フロントプレゼンススピーカー使用）の設置と本機の設定を手順に沿って案内しています。さらに、BD/DVD の再生やラジオ放送の受信など、基本的な操作についても説明しています。
- 説明には RX-A3070 のイラストを使っています。

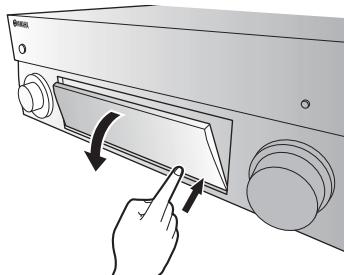


## AV SETUP GUIDE

「AV SETUP GUIDE」は AV レシーバーとテレビ、プレーヤーなどの再生機器との接続、スピーカーとの接続をわかりやすくガイドするアプリです。詳しくは、App Store または Google Play で「AV SETUP GUIDE」を検索してください。

### 前面カバーの開閉

カバー内部のキーや端子を使うときは、カバーの下側をそっと押してカバーを開いてください。使わないときは閉じてください。（指をはさまないようご注意ください。）



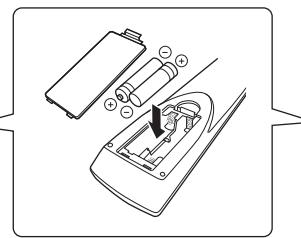
# 1

## 準備する

### 付属品を確認する



リモコン



単4乾電池（2本）



AMアンテナ



FMアンテナ



電源コード



YPAO用マイク



マイクベース



ポール

YPAOの角度 / 高さ測定時に使います。

取扱説明書

スタートアップガイド（本書）

### ケーブルを用意する

本書の説明どおりに接続する場合、以下のケーブルを別途ご用意ください。

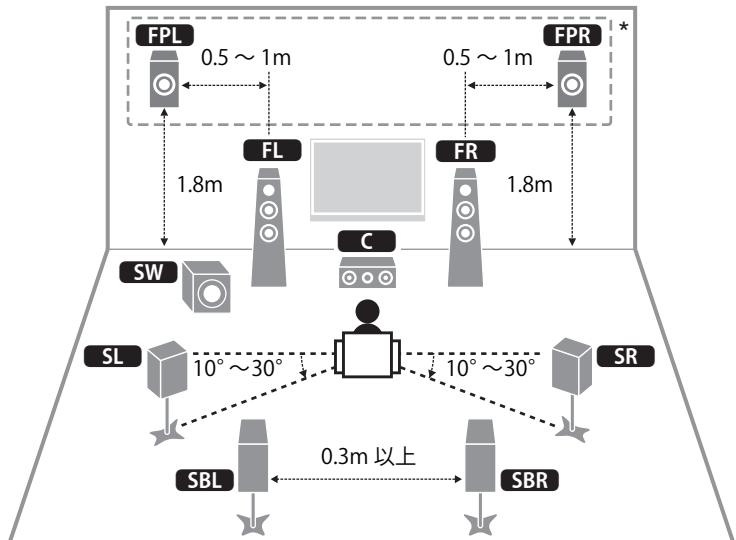
- スピーカーケーブル（スピーカーの本数分）
- モノラルピンケーブル（1本）
- HDMI ケーブル（3本）
- ネットワークケーブル（1本）（ルーターと有線接続する場合）

# 2

# スピーカー / サブウーファーを接続する

## スピーカーの配置

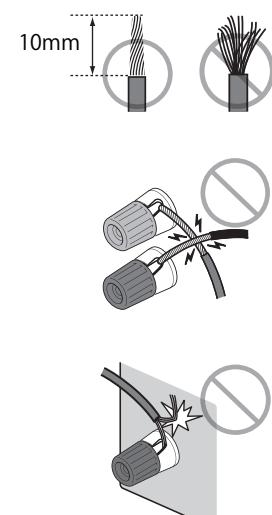
図を参考にスピーカーを配置してください。



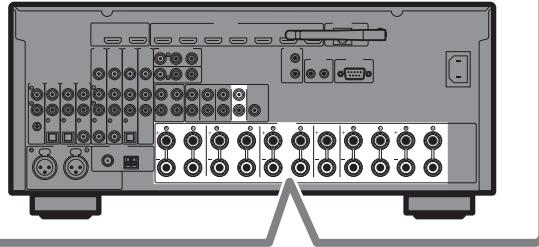
- FL フロントスピーカー（左）
  - FR フロントスピーカー（右）
  - C センタースピーカー
  - SL サラウンドスピーカー（左）
  - SR サラウンドスピーカー（右）
  - SBL サラウンドバックスピーカー（左）
  - SBR サラウンドバックスピーカー（右）
  - FPL フロントプレゼンススピーカー（左） \*
  - FPR フロントプレゼンススピーカー（右） \*
  - SW サブウーファー
- \* 7.1.2 チャンネルシステム

## スピーカーケーブル接続時のご注意

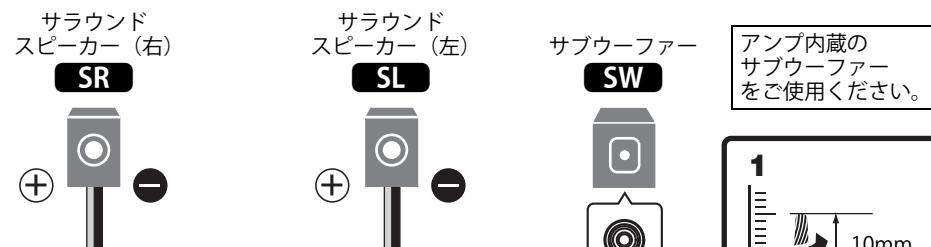
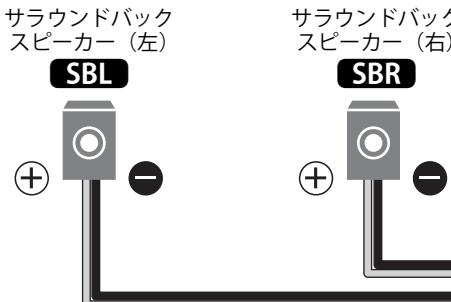
- ・本機の電源プラグをコンセントに接続しないでください。また、サブウーファーの電源を切ってください。
- ・スピーカーケーブルの加工は本機から離れた場所で行ってください。スピーカーケーブルの芯線の切りくずが本機内部に入ってショートし、故障の原因となります。
- ・誤った方法で接続すると、スピーカーケーブルがショートし、本機やスピーカーが故障する原因となります。
  - スピーカーケーブル先端の絶縁部（被覆）を約 10mm はがし、芯線の先端をしっかりとよじる
  - 芯線どうしを接触させない
  - 芯線を本機の金属部（背面のパネル、ネジ）に接触させない



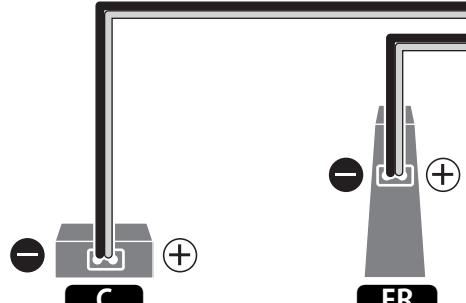
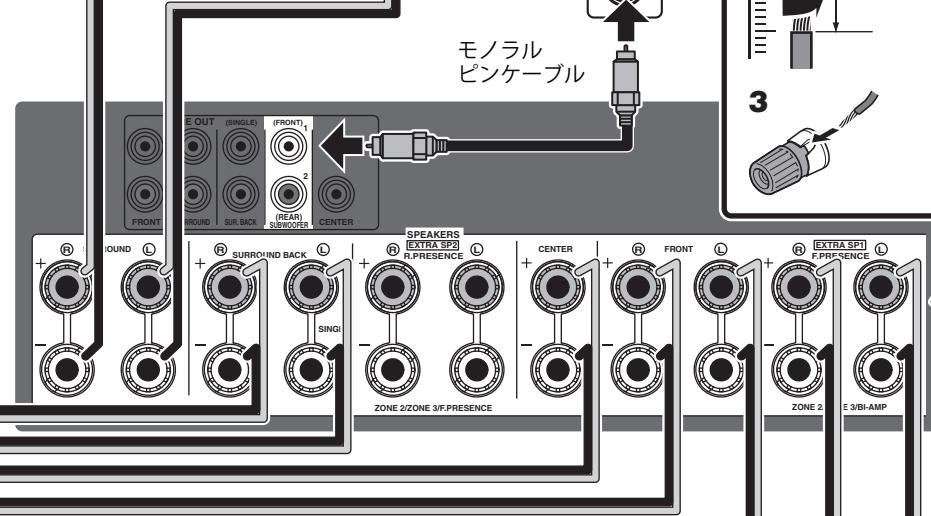
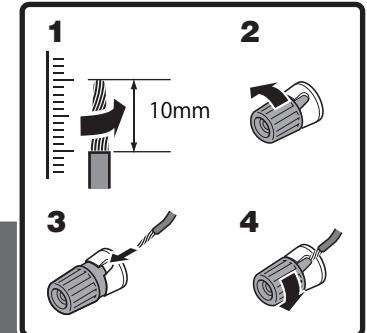
電源を入れて前面ディスプレイに「Check SP Wires」と表示された場合は、電源を切ってから電源プラグをコンセントから外し、スピーカーケーブルがショートしていないか確認してください。



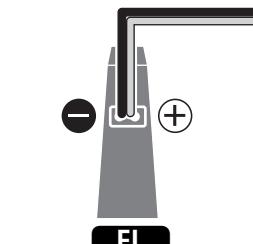
6Ωのスピーカーを接続する場合は、本機のスピーカーインピーダンスを「6ΩMIN」に設定します。「取扱説明書」の「スピーカーインピーダンスを設定する」をご覧ください。



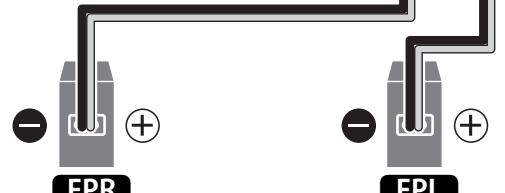
アンプ内蔵の  
サブウーファー  
をご使用ください。



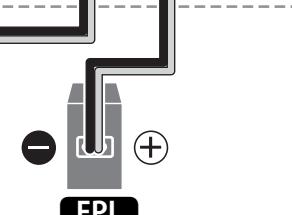
## センタースピーカー



フロントスピーカー（左）



フロントプレゼンス  
スピーカー（右）



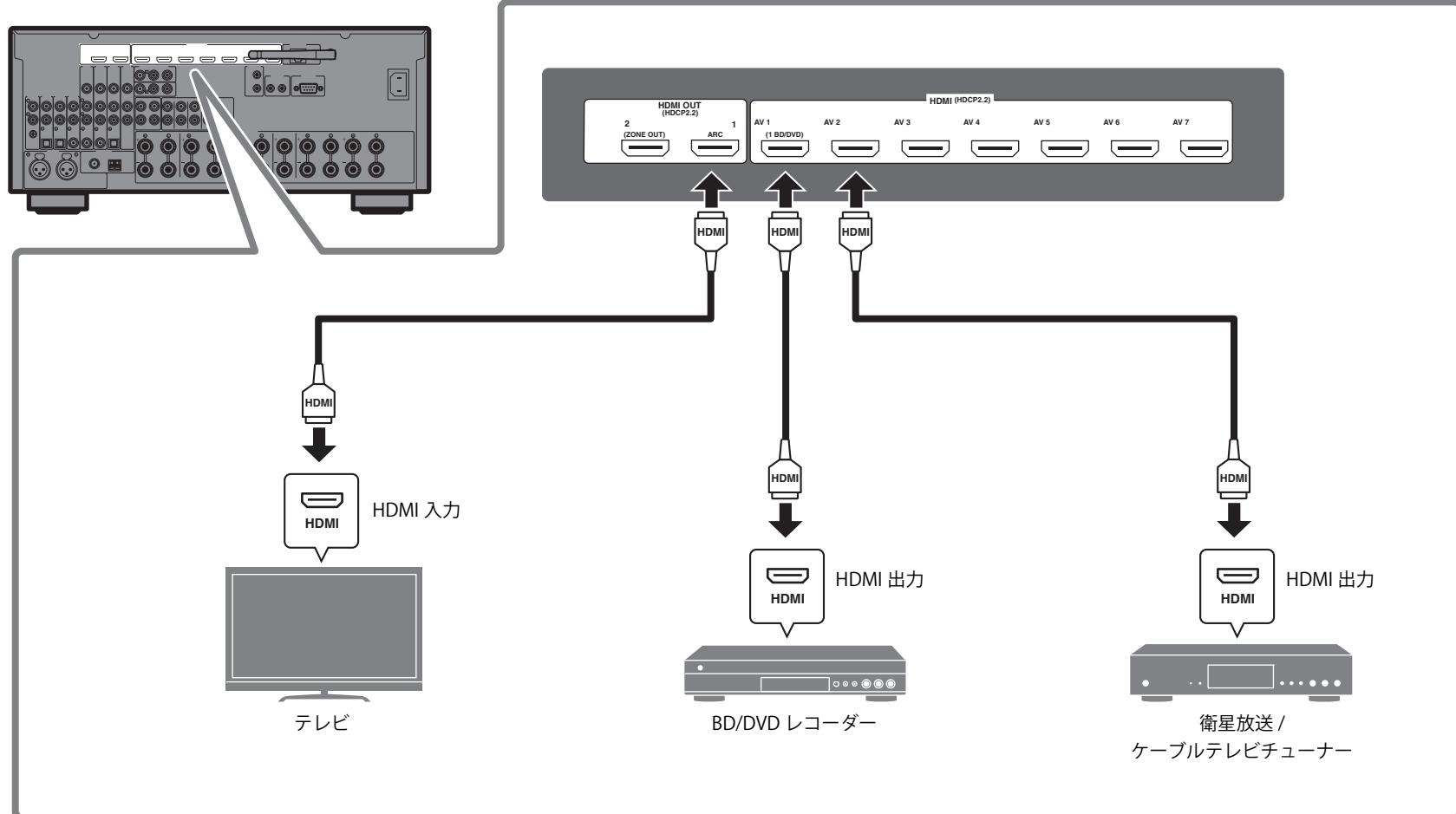
フロントプレゼンス  
スピーカー（左）

スピーカーの-／+端子の位置は、製品により異なります。

### 7.1.2 チャンネルシステム

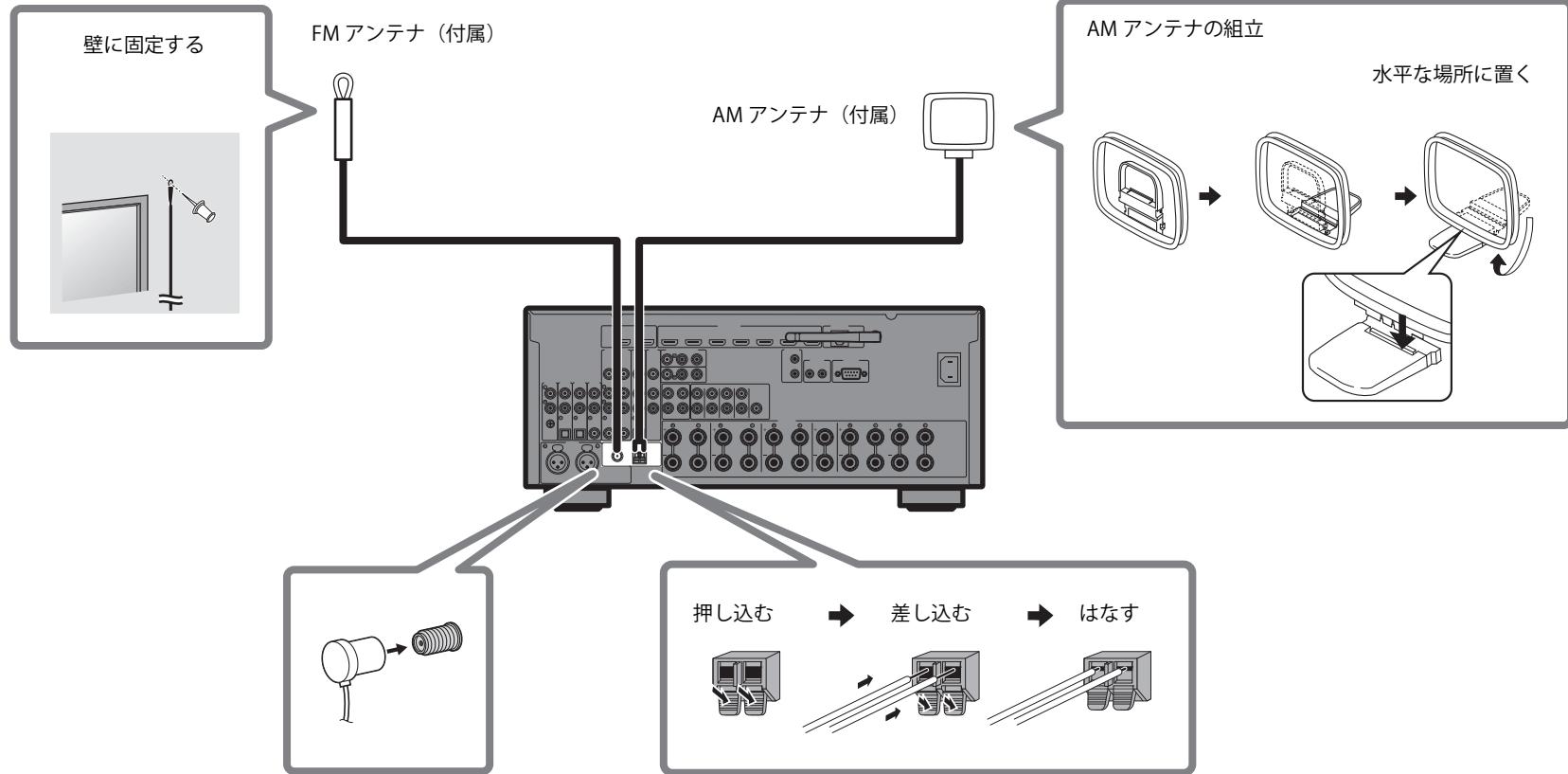
# 3

## 外部機器を接続する



# 4

## FM/AM アンテナを接続する



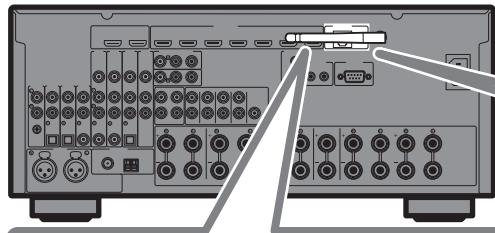
# 5

# ネットワーク接続を準備する

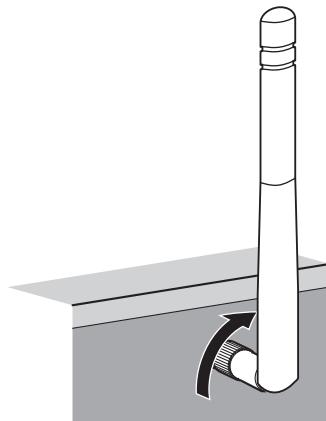
お使いのネットワーク環境に合わせて、無線ネットワーク、または有線ネットワークに接続する準備をします。

## NOTE

Bluetooth 接続をご利用になる場合も、無線アンテナを立ててください。



## 無線ネットワーク

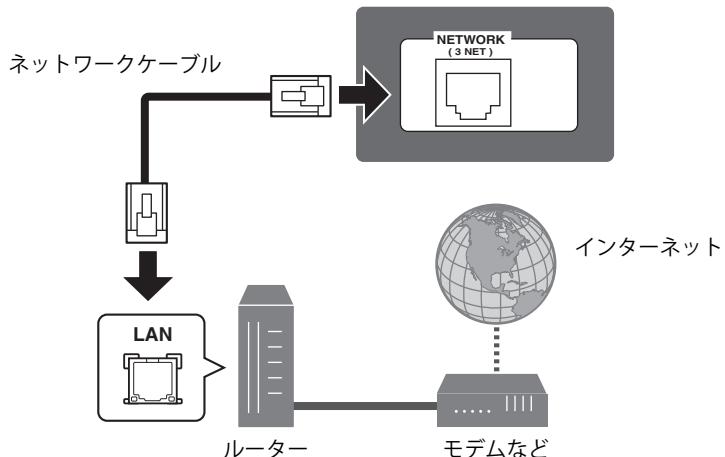


無線アンテナを立てます。  
(無線ルーター（アクセスポイント）への接続は、手順 7 で  
行います。)

## NOTE

無線アンテナに極端な力を加えないでください。破損するおそれが  
あります。

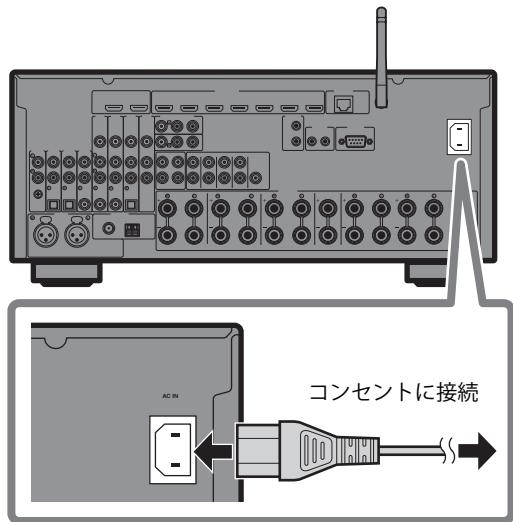
## 有線ネットワーク



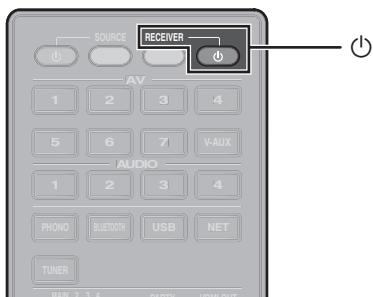
# 6

## 電源コードを接続し、本機の電源を入れる

### 1 電源コードをコンセントに接続する。



### 2 RECEIVER ⏪ キーで本機の電源を入れる。



### 3 テレビの電源を入れ、テレビ側の入力を本機 (HDMI OUT 端子) からの映像に切り替える。

ご購入後はじめて本機の電源を入れると、次のようなネットワーク設定画面がテレビに表示されます。この画面が表示されるまで数十秒かかることがあります。(画面に表示されている WAC は、Wireless Accessory Configuration の略です。)



この機能を使ってネットワークに接続する場合は、取扱説明書「無線ネットワークに接続する」の「iOS デバイスの設定を共有する」をご覧ください。

本書では、この機能以外でネットワークに接続する方法を説明しています。次ページの「ネットワークに接続する」に従って操作してください。

#### NOTE

本機とルーターをネットワークケーブルで接続している場合、この画面は表示されません。

# 7

## ネットワークに接続する

### 無線ネットワークに接続する場合

- モバイル端末(スマートフォンなど)にMusicCast CONTROLLER アプリ<sup>\*</sup>をインストールして、アプリを使ってネットワークに接続できます。**A**の方法に従って操作してください。
- モバイル端末を使わない場合は、WPS 対応の無線ルーター（アクセスポイント）に接続する**B**の方法をお試しください。その他の接続方法については「取扱説明書」をご覧ください。

### 有線ネットワークに接続する場合

- モバイル端末(スマートフォンなど)にMusicCast CONTROLLER アプリ<sup>\*</sup>をインストールして、ネットワークをご利用になるには**A**の方法で接続してください。
- モバイル端末を使わない場合は、手順**8**へお進みください。

\* モバイル端末用アプリ「MusicCast CONTROLLER」を使って、本機はもとより MusicCast 対応機器のネットワーク設定を簡単に行えます。また、このアプリを使ってスマートフォンやサーバー、インターネットラジオなどの音楽を本機で再生できます。

さらに、これらの豊富なコンテンツを MusicCast ネットワーク内のすべての機器で同時に楽しめます。

詳しくは、以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.yamaha.com/musicast/>

### A MusicCast CONTROLLER アプリを使って接続する

本機のネットワーク接続と MusicCast ネットワークへの登録を同時に行います。

#### NOTE

- お使いになるモバイル端末がご家庭の無線ルーターに接続されているか、確認してから操作してください。
- ネットワークに無線接続する場合は、使用する無線ルーター（アクセスポイント）の SSID とセキュリティキーを準備してください。
- MusicCast CONTROLLER アプリの画面は表示例です。画面はアプリのバージョンによって異なります。

### 1 モバイル端末に MusicCast CONTROLLER アプリ をインストールし、アプリを起動する。

Apple Store または Google Play で「MusicCast CONTROLLER」を検索し、インストールしてください。

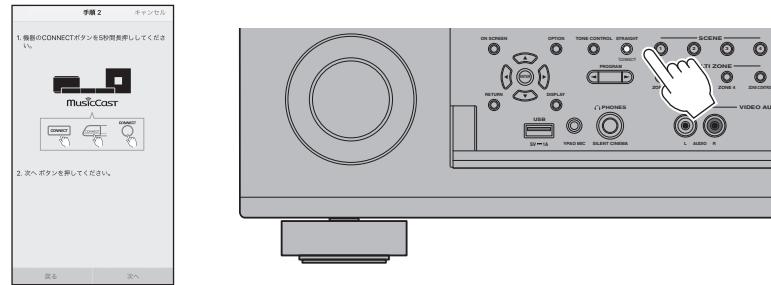
### 2 「設定する」をタップする。



**3** 本機の電源が入っていることを確認し、「次へ」をタップする。



**4** アプリ画面の案内に従って、本機前面の CONNECT キーを 5 秒以上押し続ける。



**5** アプリ画面の案内に従って、ネットワークを設定する。

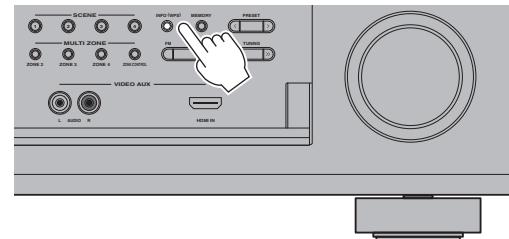
接続が完了すると、本機の前面ディスプレイに「Completed」と表示されます。

これで、MusicCast CONTROLLER アプリを使ったネットワークの接続が完了し、本機は MusicCast ネットワークに登録されました。

## **B** WPS ボタンを使って設定する

本機と無線ルーター（アクセスポイント）の WPS ボタンを押すだけで、簡単に無線接続の設定することができます。

**1** 本機前面の INFO (WPS) キーを 3 秒間押し続ける。



前面ディスプレイに「Press WPS button on Access Point」と表示されます。

**2** 無線ルーター（アクセスポイント）の WPS ボタンを押す。

接続が完了すると、本機の前面ディスプレイに「Completed」と表示されます。

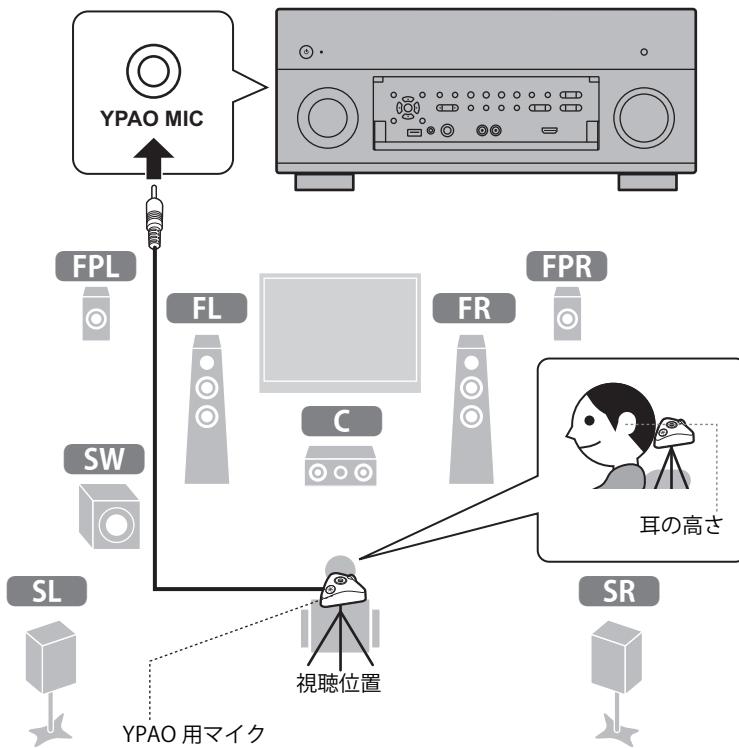
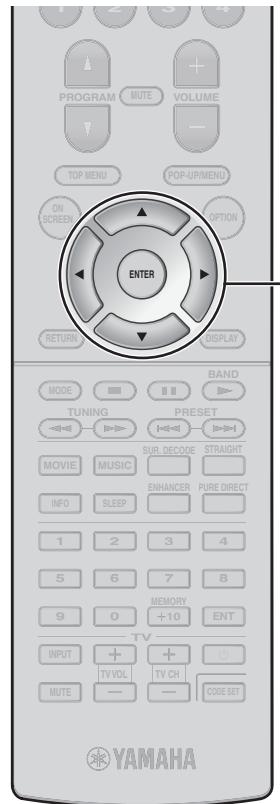
### NOTE

「Not connected」と表示された場合は、手順 1 からやり直すか、別の接続方法をお試しください。

# 8

# スピーカー設定を自動で調整する (YPAO)

付属の YPAO 用マイクを使って、スピーカーの接続や視聴位置との距離を検出し、音量バランスや音色などのスピーカー設定を自動で調整します (YPAO: Yamaha Parametric room Acoustic Optimizer)。

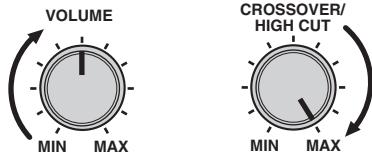


YPAO 使用時は次のことにご注意ください。

- ・測定中は大きな音が出力されます。小さなお子様がいらっしゃる場合は十分にご配慮ください。
- ・測定中は音量を調節できません。
- ・測定中は部屋を静かに保ってください。
- ・測定中は部屋の後方の隅にとどまり、スピーカーと YPAO 用マイクの間を遮らないようしてください。
- ・ヘッドホンは接続しないでください。

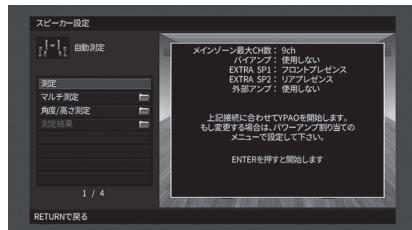
## 1 サブウーファーの電源を入れ、音量を半分に調節する。

クロスオーバー周波数を調節できる場合は最大にする。



## 2 付属の YPAO 用マイクを視聴位置に置き、前面の YPAO MIC 端子に接続する。

テレビに次の画面が表示されます。



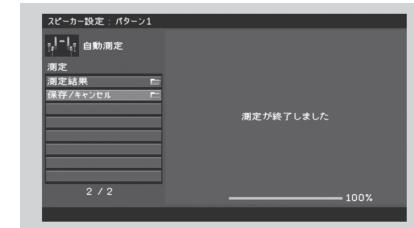
### NOTE

YPAO 用マイクを視聴位置（耳の高さ）に置きます。三脚などをマイクスタンドとしてお使いください。三脚のネジを使ってマイクを固定できます。

## 3 カーソルキーで「測定」を選び ENTER キーを押す。

10 秒後に測定が始まります。所要時間は約 3 分です。

測定が終わると、テレビに次の画面が表示されます。



### NOTE

エラーメッセージ (E-1 など) や警告メッセージ (W-2 など) が表示された場合は取扱説明書「スピーカー設定を自動で調整する (YPAO)」の「エラーメッセージ」または「警告メッセージ」をご覧ください。

## 4 カーソルキーで「保存 / キャンセル」を選び、ENTER キーを押す。

## 5 カーソルキーで「保存」を選び、ENTER キーを押す。

## 6 カーソルキーで「はい」(YPAO ボリューム有効) を選び、ENTER キーを押す。

## 7 YPAO 用マイクを本機から取り外す。

これでスピーカー設定は完了です。

# 基本的な操作

ここからは、BD/DVD 再生やラジオ放送受信など、基本的な操作をご案内します。ほとんどの機能はリモコンで操作できます。

## リモコンで操作する

本機の入力と設定をワンタッチで切り替えます(シーン機能)。

本機がスタンバイのときは、電源が入ります。

購入時の各 SCENE キーには、以下の設定が登録されています。

SCENE キー	1	2	3	4
入力	AV1	AUDIO1	NET RADIO	TUNER
音声入力選択	自動判別	自動判別	—	—
音場プログラム	サイファイ	ストレート デコード	9ch ステレオ	9ch ステレオ
HDMI 出力端子	HDMI OUT 1+2	HDMI OUT 1+2	HDMI OUT 1+2	HDMI OUT 1+2
ピュアダイレクト モード	自動	自動	自動	自動
エンハンサー	オフ	オン	オン	オン
ハイレゾモード	—	オン	オン	オン

本機の電源を入 / 切 (スタンバイ) する

入力を選ぶ

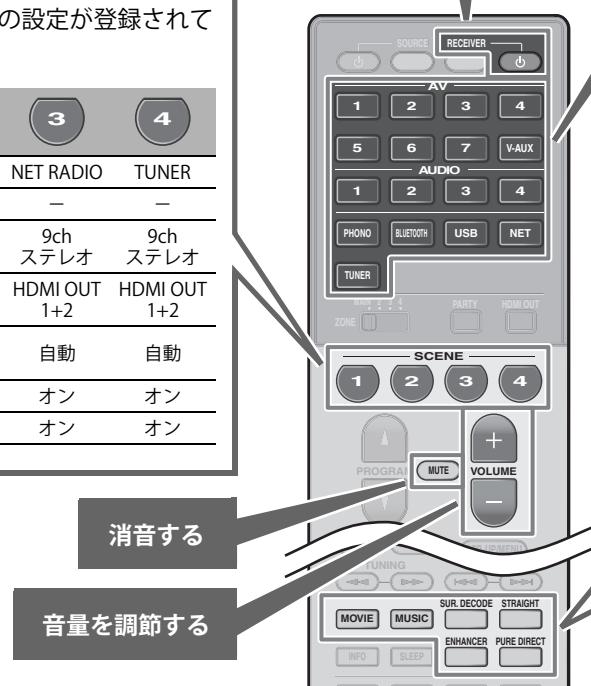
本機には、さまざまな音場プログラムやサラウンドデコーダーが備わっています。視聴する内容に応じて、お好みのサウンドを選べます。

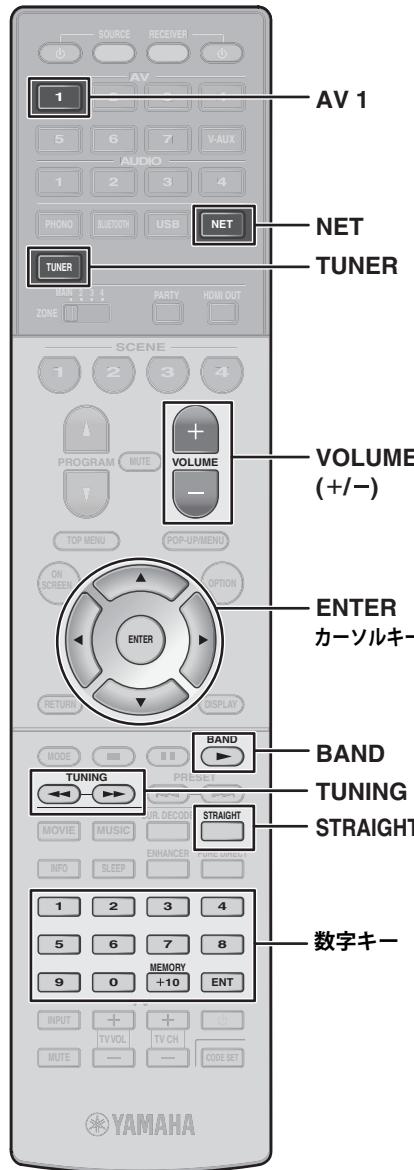
**STRAIGHT**：音場効果をかけずに、オリジナルチャンネルの音声をお楽しみいただけます。

**PURE DIRECT**：最低限再生に必要な機能を除き、各種の回路（前面ディスプレイなど）が停止されます。これによりノイズの混入を防ぎ、原音により忠実な音質で再生できます。

**ENHANCER**：BLUETOOTH 機器や USB 機器などの圧縮音源に音の深みと広がりを加えます。

**MOVIE、MUSIC、SUR. DECODE**：映画や音楽鑑賞に最適なプログラムが MOVIE や MUSIC で選べます。また、SUR. DECODE を使うと、音場効果を使わずに 2 チャンネルソースをマルチチャンネルで再生できます。





## BD/DVD を再生する

サラウンド音を体感するために、マルチチャンネル音声（5.1ch 以上）が収録されている BD/DVD の再生をおすすめします。

### 1 BD/DVD レコーダーの電源を入れる。

### 2 AV 1 キーを押す。

接続した機器によっては、「Blu-ray」などのように名称が表示されます。



### 3 BD/DVD レコーダーで BD/DVD を再生する。

### 4 STRAIGHT キーを押して「STRAIGHT」を選ぶ。

#### NOTE

「STRAIGHT」（ストレートデコード）を選ぶと、ディスクに収録されている各チャンネルの音声が各スピーカーからそのまま出力されます。本機の音場効果はかかりません。

### 5 VOLUME キーで音量を調節する。

#### NOTE

スピーカーから音が出ない場合や、音の出ないスピーカーがある場合は、「取扱説明書」の「故障かな？と思ったら」をご覧ください。

## FM/AM ラジオを聞く

1 TUNER キーで入力を「TUNER」に切り替える。

2 BAND キーで FM/AM を切り替える。

FM 83.0 MHz -30dB

3 以下のキーで選局する。

TUNING キー：周波数を切り替えます。約 1 秒押し続けると、放送局を自動でサーチします。

数字キー：周波数を直接入力します（例：82.5MHz を選ぶ場合は「8」「2」「5」と入力します）。

FM 82.5 MHz -30dB

ラジオ放送受信中は「TUNED」が点灯します。  
ステレオ放送の場合は「STEREO」も点灯します。

#### NOTE

本機は FM 補完放送（ワイド FM）に対応しています。

## インターネットラジオを聞く

1 NET キーを繰り返し押して、入力を「NET RADIO」に切り替える。

テレビにブラウズ画面が表示されます。

2 カーソルキーでインターネットラジオ局を選び、ENTER キーを押す。

ラジオ局を選ぶと再生が始まり、再生画面が表示されます。

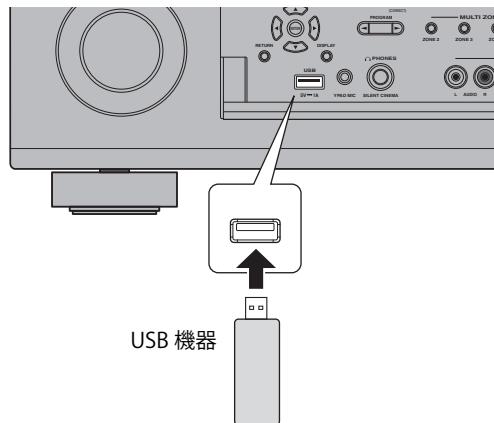
#### NOTE

モバイル端末にインストールした MusicCast CONTROLLER アプリを使って、インターネットラジオ局を選ぶこともできます。



## USB 機器の曲を再生する

### 1 USB 機器を USB 端子に接続する。



#### NOTE

USB機器は直接本機のUSB端子に接続してください。延長ケーブルなどは使わないでください。

### 2 USB キーを押し、入力を「USB」に切り替える。

テレビにブラウズ画面が表示されます。

### 3 カーソルキーでコンテンツを選び、ENTER キーを押す。

曲を選ぶと再生が始まり、再生画面が表示されます。

## Bluetooth 機器の曲を再生する

### 1 BLUETOOTH キーを押し、入力を「Bluetooth」に切り替える。

### 2 Bluetooth 機器を操作し、使用可能なデバイスのリストから本機（本機のネットワーク名）を選ぶ。

パスキー（PIN）の入力を要求されたら、数字の「0 0 0 0」を入力します。Bluetooth 機器と接続すると、本機の前面ディスプレイの＊インジケーターが点灯します。

### 3 Bluetooth 機器を操作して曲を再生する。

#### NOTE

本機で再生している音声を Bluetooth スピーカー / ヘッドホンに送信して聴くことができます（Bluetooth 入力のときを除く）。詳しくは、取扱説明書の「本機の音声を Bluetooth 対応スピーカー / ヘッドホンで再生する」をご覧ください。

## 取扱説明書について

本機には、ほかにも多くの機能があります。詳しくは「取扱説明書」（付属）をご覧ください。

PDF 版は以下のウェブサイトからダウンロードできます。

<http://download.yamaha.com/jp/>

Manual Development Group  
© 2017 Yamaha Corporation

2017 年 4 月発行 KS-A0  
Printed in Malaysia

ZX14280